

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 4 年 4 月 14 日

事業名称	会計事務費 [審査事務]							
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 5	会計管理費	事業番号 1	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) <input type="checkbox"/> 課内庶務等 <input type="checkbox"/> 休止したもの <input type="checkbox"/> 廃止したもの							
担当部署・課長名	会計 課 審査 係			課長名		木村 西		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。					施策番号	行 - 2		
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現					総合計画書 (ページ)	122		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)				
	①調定伝票 ②歳出伝票 →			①調定伝票の枚数 ②歳出伝票の枚数				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 歳入・歳出伝票を適正な状態にする。			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 各課へ返付した伝票の割合 (返付枚数3,515枚 / 調定・歳出伝票38,292枚)				
③ そのために何をしましたか。 歳入・歳出手続きを法令等に照らした確認・審査及び各課への訂正依頼。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 審査件数 →					
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標
	対象指標	①の数値	枚	①3,386 ②39,093	①3,087 ②33,751	①3,112 ②35,180		
	成果指標	②の数値	%	9.0	8.6	9.2		
	目 標	②の目標値	%	—	9.0	8.6	9.2	—
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。) 前年度返付枚数割合以下								
		活動指標	③の数値	枚	①3,386 ②39,093	①3,087 ②33,751	①3,112 ②35,180	
3 経費	事業費(実績)		円	1,810,935	1,898,040	1,467,185	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円	1,810,935	1,898,040	1,467,185		
		特定財源	円	0	0	0		
	(うち受益者負担)		円	0	0	0		
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	2.0	1.0	1.0		
		所要人数(再任用)	人	0.0	1.0	1.0		
職員人件費(再任用以外)		円	16,620,000	8,380,000	8,250,000			
職員人件費(再任用)		円	0	3,020,000	3,020,000			
事業費+人件費		円	16,620,000	11,400,000	11,270,000			
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く 審査事務の軽減を図ること。							
	5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く 返付状況の年間集計結果を各課へ周知し、伝票作成後の確認を徹底してもらう。						